

2016年12月 東都生協NO₂測定濃度分布図

2016年12月1日～12月2日に測定したNO₂(二酸化窒素)の測定結果をお知らせします。

人の健康に悪影響を与える汚染物質として、イオウ酸化物(SO_x)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO_x)、炭化水素、浮遊粒子状物質(SPM、PM2.5)などが知られています。これらの汚染物質は主に自動車から出る排気ガスが原因です。東都生協は「身近な所の空気を実際に測ってみて、自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいか?」を考えていただくことを目的に1988年から二酸化窒素NO₂測定活動を実施し、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会」に提供しています。この連絡会では、生協のほかさまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開。毎回の地道な測定活動の積み重ねが、大きな運動を支えています。

2016年12月の測定結果

今回測定したNO₂(二酸化窒素)の平均濃度は0.023ppmでした。昨年(2015年12月)の平均値(0.021ppm)と比べて0.002ppm高い濃度です。また、前回(2016年6月)の平均値(0.018)との比較でも、0.005ppm高い濃度になりました。

都内の主な大気汚染常設監視測定局が測定したNO₂平均濃度は、道路沿いが、0.031ppm、住宅地は0.023ppmでした。

一斉測定日: 2016年12月1日(木) 午後6時～ 12月2日(金)午後6時 ※前後2時間を有効	当日の天気: 1日(晴)、2日(晴) 風速: 1日(3m/s) 2日(1m/s)	測定規模 ・参加人数:228人 ・カプセルの配布数:230個 ・カプセルの返却数:223個 (回収率:91.3%) ・有効測定数:175個 (有効回収率:69.4%)
---	--	---

※環境省が定めたNO₂の基準値は「0.04～0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

大気汚染測定運動東京連絡会

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。同団体が取りまとめた測定結果は東京都や環境省に報告され、有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。

